



山口宇部 医療センター だより

体に優しい
呼吸器外科
手術特集
掲載!!

P2 2025年 年頭のあいさつ

P4 呼吸器外来特集

痛みの少ない「単孔式胸腔鏡下手術」

P5 ●呼吸器フォーラムのご案内

●リハビリテーション科

P6 ●令和8年度看護師募集のご案内

P7 ●特殊外来・健康教室案内

P8 ●外来診療担当医表



独立行政法人 国立病院機構

山口宇部医療センター

山口県特定領域がん診療連携推進病院(肺がん)

〒755-0241 山口県宇部市東岐波685番地

TEL.0836-58-2300(代) FAX.0836-58-5219

<https://yamaguchiube.hosp.go.jp/>



2025年 年頭のあいさつ

山口宇部医療センター（山口がん・呼吸器センター）

院長 亀井 治人



謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに皆様にとりまして本年が良き年となりますことを心より祈念申し上げます

山口宇部医療センター職員一同は 心を新たにしながらも、これまでと変わりなく 地域の皆様の期待にお応えできる診療を目指してまいりたいと考えておりますので 本年もよろしく願い申し上げます

本年の干支(十干・十二支)は、「乙巳(きのとみ)」になります。「乙」は十干の二番目で「軋(きしむ)」を意味し、さながら植物が成長し広がっていくような、柔軟性や協調性をもって自身の目標に向かって進んでいく力を表すとされます。そして「巳」は、十二支の6番目で、「蛇」を表します。蛇には、ややもするとネガティブなイメージを抱きがちという方も多いと思いますが、古来よりたくましい生命力、再生力を持つ神聖な生き物としても認識されており、医療界では世界保健機構(WHO)のロゴに用いられている「アスクレピオスの杖(ギリシャ神話に登場する名医アスクレピオスが持つ一匹の蛇が巻き付いた杖)」をはじめ、国内外の医療機関、施設のロゴのデザインに蛇が広く用いられています。

さて、近年、本邦では十年に一度と称されるような異常気象が日常茶飯の時候となり、各地でおこる大規模地震は当地への甚大な影響が懸念される南海トラフ地震の発生に現実味を帯びさせています。さらに、海外

に目を向けてみても、諸外国で地震、洪水、干ばつなどの自然災害、そして人災の最たるものである自国内や国家間での紛争、さらに国際協調に影響を与えかねない政変といった心穏やかではいられないニュースが絶えることがありません。世界規模で時代の変革点を迎えているという気配が漂っており、私たちがこれまで当たり前のこととして享受してきた「日本の平穏で安定した日々」はいつまで続くだろうか・・・と不安を感じてしまう、心落ち着かない世情となっています。

話は少し変わって、皆様もお気づきのことと思いますが、本邦における医療界につきましても、ひたひたと心落ち着かない世情へと移り変わってきています。日本は世界的に見ても顕著な少子・高齢化社会の時代を迎えており、家庭においては核家族化が進んで家族構成単位は縮小、居住地も分散して生活における「自助」には限界がみえています。そして、特に人口減少地域にあっては、長年育まれてきた「互助」の土台となるコミュニティも次第にやせ細りつつあります。さらに、国民健康のセーフティーネットの要である病院、診療所についても、やはり人口減少地域では医療の総需要の縮小や医療従事者の減少、偏在などによって運営に齟齬をきたしつつあり、各地で医療機関の診療範囲の縮小、さらには病院の統廃合や閉院といったニュースがもはや珍しいものではなくなっています。それでは、いよいよの時の頼みの綱である公的補助や社会保障などの「公助」、「共助」の仕組みは万全なのかということになると、国家は既に

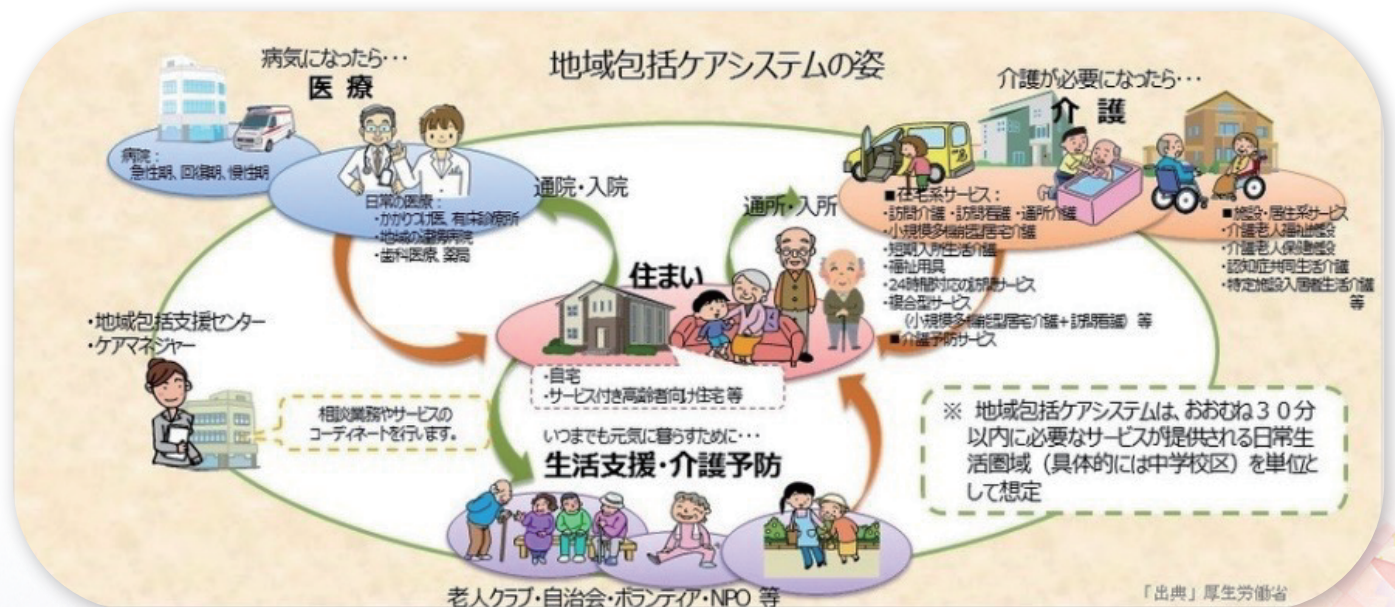
負担を次世代に先送りする借金体質に陥っていて、高齢化で需要が膨れつつある社会保障を支えきれなくなってきましたし、世界に誇る本邦の医療保険制度も財政面で維持が危ぶまれているという状況にあります。

厚生労働省は、既に日本の医療や介護の行く末を見越して、「**地域包括ケアシステム(高齢者(国民)が、自立生活の支援のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを、人生の最期まで続けることができるような地域の包括的な支援・サービス提供体制)**」の構築を推進してきています。そして、その医療領域については、平成の頃から、行政の主導のもとに、地域における医療の需要と供給のバランスを主眼にして各医療資源の再構築を目指す**地域医療構想**が策定され、実現を目指して協議、検討が行われています。今般のCOVID-19の大流行への対応のために一時進捗が滞っていましたが、コロナ禍も一段落し、これからいよいよ議論が再開となりますが、各医療機関の存在意義を問うものである自施設の診療機能の分化と分担の明確化、そして他医療機関との連携体制の構築、さらに領域によって診療機能の統合にまで話が及べば、対象医療機関だけではなく圏域の住民の方々とともに痛みを分かち合う方策にも繋がりますので、真摯かつ丁寧な検討が望まれています。

世相は必ずしも明るくはなく、医療を取り巻く環境も大きな変革の時代にありますので、新年を迎えて無邪気に明るい夢を語ることだけでは空疎に響きます。しかしながら、山口宇部医療センターは、これまでずっと、**呼吸器および悪性疾患の診療、緩和医療、重症心身障害児・者の療育・医療**という、当該医療圏において**当院の存在なくしては存続しえない医療機能を安寧に継続して提供してきたという実績と皆様方の信頼を土台とし、医療人としての志をもって真摯に当院の本分を尽くすことができれば、今後とも地域の皆様、地域の医療に貢献し続けることができる、山口宇部医療センターの未来は盤石で明るい**と確信しております。

山口宇部医療センターは、今年を振り返った時に、正に「巳」のごとく旺盛な生命力をもって、「乙」の字のごとく、当該地域の皆様との理解と協調によってしなやかに成長し、困難な時代を乗り越えた「よき一年であった」と皆様にも実感いただけることを目指して、これからの日々を充実させねばならないと決意を新たにしておりますので、今後とも変わらずご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年(令和7年)1月 吉日



「痛みが少ない 単孔式胸腔鏡下手術」

呼吸器外科
岡田 真典

呼吸器外科で扱う肺がんや気胸などに対する手術は、近年では小さな傷で手術を行う胸腔鏡下手術が一般的になっています。胸腔鏡下手術は、胸の中（胸腔）を観察するための胸腔鏡というカメラや、組織を切離したりする手術器具を、数 cm の小さな傷から胸腔内に入れ、これらを体外で操作して行う手術です。

これまではこの傷（孔）を数ヶ所設けて行う多孔式胸腔鏡下手術が一般的でありましたが、創部 1 つのみで行う「**単孔式胸腔鏡下手術**」が近年本邦でも拡がりつつあります。専用の手術器具や技術が必要となりますので、可能な施設に限られますが（どの医療機関でも受けられるわけではありません）、当院では令和 3 年から開始し、多くの患者さんにご好評いただいております。

■ 単孔式手術の特徴

傷が 1 ヶ所のみですので、従来法と比べて**美容的に優れる、痛みが少ない**といった**メリット**が期待されます。また術後の痛みを軽減させることで、**手術の合併症を回避し、早期の社会復帰へとつながるもの**と考えています。

	従来の多孔式胸腔鏡下手術	単孔式胸腔鏡下手術
創部の数	2つ～4つ	1つのみ(3～4cm)
痛み	開胸手術よりは少ない 8割以上の患者で術後数週間の 鎮痛剤内服を継続*	かなり少ない 6割以上の患者で術後1週間以内に 鎮痛剤が不要になる*

※令和3年・令和4年に当院で施行した胸腔鏡下解剖学的肺切除症例を対象に解析

■ 当院での単孔式手術の対象疾患

肺がんをはじめ、縦隔腫瘍や気胸といった**ほぼ全ての呼吸器外科疾患**です。
※病状（肺がんの進行度など）、併存疾患の有無や病歴によっては難しい場合があります
（安全かつ確実に手術を完遂できることを目指した上でアプローチを選択します）

■ 単孔式手術のご希望・お問い合わせ

当院の呼吸器外科外来に、ぜひお気軽にご相談ください。



第42回 市民公開講演会『呼吸器フォーラム』

日時 令和7年2月16日(日) 13:00~15:00 [開場・受付]13:00~

場所 山口宇部医療センター 2階大会議室

宇部市東岐波685番地

事前登録不要
入場無料

(駐車場無料)

マスク
着用
お願いします

当日のプログラム

13:30~13:35 開会の挨拶 山口宇部医療センター 院長 亀井 治人
[講演司会] 山口宇部医療センター 外科系診療部長 井野川 英利

13:35~13:55 **第一部**

『COPD(慢性閉塞性肺疾患)をご存知ですか?』

山口宇部医療センター内科系診療部長
恐田 尚幸



13:55~14:00 質疑応答

14:00~14:55 **第二部** 特別講演
『非小細胞肺癌に対する
周術期治療』

講師

岡山大学学術研究院医歯薬学域
呼吸器・乳腺内分泌外科学 教授
岡山大学医学部 医学部長

豊岡 伸一 先生



14:50~14:55 質疑応答

14:55~15:00 閉会の挨拶

山口宇部医療センター 副院長
田中 伸幸

主催/独立行政法人 国立病院機構 山口宇部医療センター 山口県特定領域がん診療連携推進病院(肺がん)

リハビリテーション科

息苦しくなりやすい動作 を知っていますか?

上肢挙上動作

呼吸に関わる胸郭の動きを制限するため。

- 例・かぶり服の着脱
- ・洗髪
- ・高い所の物をとる
- ・洗濯物を干す 等



腹部圧迫動作

呼吸に関わる横隔膜などの動きを制限するため。

- 例・靴下や靴を履く
- ・足を洗う
- ・床の物を拾う 等



息を止める動作

呼吸に関わる胸郭の動きを制限するため。

- 例・排便
- ・洗顔
- ・会話
- ・食事(飲み込み)
- ・重い物を持ち上げる 等



反復動作

力を入れ続けるため・スピードが
つきやすいため

- 例・掃除機をかける
- ・体を洗う・拭く
- ・歯磨き
- ・食事(食べ物を口に運ぶ動き) 等



一般に呼吸器疾患の方は、上記の例のような動きを行う時に息苦しくなったり、低酸素の状態になったり、脈が速くなったりすることが多いようです。

息苦しくなりやすい動作の特徴を知り、動作方法を変えたり動作のスピードをゆっくりしたりこまめに休憩をとったりすることで息苦しさを軽減し少しでも楽に過ごせるようにしましょう。

令和8年度採用 看護師募集

あなたを
待っている
人がいます。



〔採用試験日〕 令和7年 5月24日(土)

〔募集受付期間〕 令和7年 4月1日(火) — 5月14日(水)

〔応募資格〕 ● 令和8年3月に看護師資格を取得見込の方
● 看護師の資格を有する方

※採用試験の応募方法等については、「国立病院機構中国四国グループ採用情報」にて案内予定です。
給与等の待遇についてお聞きになりたい方は、給与係長までお気軽にご連絡ください。



当院では病院見学会を随時実施しておりますので、
ご希望の方は担当者までにご連絡ください。



〔連絡先〕 tel.0836-58-2300(代)

〔担当者〕 副看護部長 妹尾(せのお)



特殊外来・健康教室案内

令和7年1月1日 現在

特殊外来・健康教室名	場所(診療科)	予約	実施日時	担当
肺癌・中皮腫検診	画像診断科	○	火・金曜日	松本 常男
石綿健康管理手帳検診				
じん肺健康管理手帳検診	画像診断科	○	火曜日	松本 常男
宇部市肺がん検診	画像診断科	○	火・金曜日	松本 常男
宇部市胃がん検診	放射線科	○	毎日	田中 伸幸
宇部市乳がん検診	乳腺・消化器外科	○	月・金曜日	平澤 克敏
宇部市骨粗鬆症検診	放射線科	○	毎日	田中 伸幸
禁煙外来	内科	○	火曜日 午後2時～	前田 忠士
家族ケア外来	精神科	○	火曜日午前(完全予約制)	小野 光弘 / 長友 隆一郎
呼吸器ドック	呼吸器内科	○	火曜日	前田 忠士
			木曜日	亀井 治人
日帰り人間ドック	腫瘍内科	○	火曜日	前田 忠士
特定検診				
渡航時の各種証明及び検査	画像診断科	○	火・金曜日	松本 常男
就業時等の身体検査				
CTによる肺癌検診	放射線科	○	平日 12時～19時	田中 伸幸
			第4土曜 10時～12時	
乳癌検診	乳腺・消化器外科	○	月・金曜日 午後1時～	平澤 克敏
睡眠時無呼吸症候群外来	呼吸器内科	○	火曜日 午後2時～3時	坂本 健次
手掌多汗症外来	呼吸器外科	○	水曜日 午前(紹介状必須)	沖田 理貴
てんかん外来	精神・神経内科	×	毎日	小野 光弘
セカンドオピニオン外来	外来診察室	○	毎日(完全予約制)	各種対象疾患担当医
がん相談支援外来	がん相談支援室	×	毎日	がん相談支援室看護師
呼吸器疾患看護外来	外来診察室	○	毎月第1・3木曜日 午前 (完全予約制)	認定看護師
がん看護外来	外来診察室	○	毎日(完全予約制)	認定看護師
糖尿病教室	栄養相談室	○	現在休止中	管理栄養士
高血圧教室	栄養相談室	○	現在休止中	管理栄養士

外来診療担当医表

令和7年1月1日 現在

診療科	概要	月	火	水	木	金
内科新患外来		末竹 諒	近森 研一 兼定 晴香	前田 忠士 一山 康	柳 大樹	角川 智之 藤井 哲哉 (午前のみ)
内科紹介外来		亀井 治人	亀井 治人	亀井 治人		亀井 治人
内科			石田 浩一			石田 浩一
呼吸器内科		坂本 健次 兼定 晴香 沖村 昌俊	恐田 尚幸 坂本 健次 久本 優佳里 渡邊 倫哉 米澤 恒成	恐田 尚幸 末竹 諒 上原 翔	坂本 健次 兼定 晴香 久本 優佳里 渡邊 倫哉	末竹 諒 上原 翔 兼定 晴香 米澤 恒成 沖村 昌俊
腫瘍内科	抗がん剤治療 肺がん等	前田 忠士 近森 研一 宇都宮 利彰 (午後のみ)		近森 研一	前田 忠士	
緩和ケア内科	※完全予約制		小笠原 啓子		小笠原 啓子	
放射線科	画像診断・ 放射線治療等	田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜	田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜	田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜	田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜 松本 常男	田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜
画像診断科	画像診断等		松本 常男			松本 常男
呼吸器外科新患外来		井野川 英利		沖田 理貴	岡田 真典	
呼吸器外科・外科	肺がん	沖田 理貴 岡田 真典		井野川 英利 岡田 真典	井野川 英利 沖田 理貴	
乳腺・消化器外科	胃がん・ 大腸がん等	平澤 克敏		平澤 克敏 (午前中のみ)		平澤 克敏 (手術で不在の場合あり)
小児科	重症心身障害児(者) 発達障害児(15歳まで) ※予約制		奥田 裕美	奥田 裕美		奥田 裕美
精神科	てんかん等	小野 光弘		小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘

※下記診療科は入院患者のみ診療

消化器内科	内視鏡等 ※午前中のみ				松本 俊彦	
整形外科	午前のみ					藤本 和弘
歯科	13時～		白石 麻美	野田 健人		
耳鼻いんこう科	13時～			野村 一智		
神経内科	13時～			根本 壊		
皮膚科	14時～				杉本 紘子	
循環器内科	9時30分～12時30分 13時00分～17時00分	佐野 元昭		石口 博智		

① 外来受付時間: 午前8時30分～11時30分 【外来診療開始時間: 午前8時45分～】

※内科新患外来: 午前9時30分～11時00分 / 内科紹介外来: 午前9時00分～11時00分

② 再診の予約受付は、医療事務室までお問い合わせください。

③ CTの外来紹介は、地域医療連携室(内線2452)までご連絡ください。

患者紹介に関するお問い合わせは、地域医療連携室まで

地域医療連携室

受付時間 / 毎週月～金曜日(祝日及び年末年始を除く) 8時30分～17時15分

TEL(0836)58-4100 FAX(0836)58-2938

